

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	共生型放課後等デイサービスわんぱくはうす平井園			
○保護者評価実施期間	令和6年 8月 1日 ～ 令和6年 9月 15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	令和6年 8月 1日 ～ 令和6年 9月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 10月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	共生型事業所(放デイ・生活介護)として、異年齢の方との関わりを常に持つことができる。	学校休業日に関しては活動を共にし、放デイ・生活介護利用者が同じプログラムを行い、関わりを深めている。 (散歩・買い物・地域貢献活動ゴミ拾いなど) また、関わりの中で互いに思いやる気持ちや共存する力を育てていく。	日頃から慣れ親しんだ環境の中で学校卒業後の将来を見据え、生活介護における生産活動(軽作業)体験や将来に向けた取り組みなど検討し、スムーズな移行をめざしていく。
2	イベントや夏季にはプールを設置しての水遊びなど、季節に応じたプログラムを設定。隣接する公園など利用し、屋外でも安全に活動することができる。	室内はもちろん、屋外活動として事業所に隣接する公園内は車両の出入り等もなく、子どもたちが安全にのびのび活動することができる。	室内・屋外での活動を組み合わせ、活動を幅広く展開していく。遊びの中でのルールを身につけ、地域の方々・子どもたちとの交流の機会を増やしていく。
3	保育士・児童指導員・強度行動障害支援者養成研修修了者を多く配置している。	職員それぞれが持っている強みを活かし、チームで役割分担し協力しながら支援プログラムの向上をめざしている。	積極的に研修や資格取得に向けモチベーションを高め、受講後は必ず研修報告を行い、職員全体で共有、支援につなげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	行事(課外活動、保護者会など)開催が難しい。	共生型のため、月～土(第2.4)は学校がある平日も生活介護事業を行っているので、日程設定が困難である。	職員の勤務調整を行い、開所日以外の日程でイベントを計画実施につなげたい。
2	ご家族との交流	ほとんどが送迎利用で送迎担当以外の職員はご家族と直接関わる機会が少なく、情報共有ができない。 職員により偏りがある。	できる範囲内で面談や送迎に同席し、コミュニケーションを図る機会を設け、関係性を築く。 情報共有する場を増やしていく。
3	地域の方・子どもたちとの交流する機会がない。	近隣の公園などで顔を合わせ一緒に遊ぶことはあるが機会を設けての交流会などは行ったことがない。	地域の情報を集め、今後参加できる行事などがあれば検討したい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 共生型放課後等デイサービスわんぱくはうす平井園

公表日 令和6年 10月 15日

利用児童数 9名

回収数 7名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	2	1		共生型(生活介護との)で大人と一緒に 事業所なのでスペースが十分確保でき ていない。	共有スペース内に児童スペースを設け、 必要時状況に応じて使い分けています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	2	1			法令で定められた職員配置基準を遵守し ています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	3				全室バリアフリー。 身障者用トイレも設置。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	2	1			感染症対策面から毎日の清掃・消毒作業を徹 底しています。また、限られたスペースの中 で活動に応じて配置換えができるように家具 等の設置を行っています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	5		2			職員研修の機会を確保し、専門性や資質 向上に努め、研修内容は職員間で共有し ています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	5	2				児童の成長や状況の応じ、将来に向け 様々な体験を取り入れ楽しく取り組める プログラムを提供しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	5	2				シートを活用してのアセスメント、モニタリ ングを行った上で面談を実施し、ご本人の状 況やご家族の意向を整理し、支援計画を作成 しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	6	1				5領域の視点を踏まえた計画の中で1対 1による個別支援+個々のニーズに応じ た集団で行われる支援を組み入れ、活動 に反映しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6		1			ガイドラインにの基本活動を組み合わせ た計画を作成し、支援に反映していま す。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	6	1			固定化した方が子どもにとって、わかり やすい場合もある。	日課活動の中には固定化された活動に加え、 個別支援・集団活動と合わせて日々のプ ログラムを実施しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。		1		5		あまり機会がありません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	6	1				契約時にご説明させていただいておりま す。今後も丁寧な説明を心掛けていきま す。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	7					面談時、支援内容や経過を確認しながら 今後の支援の在り方について共有してい ます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	3	3	1			茶話会(保護者会)開催を検討中。皆様が 気軽に参加していただける会を計画中で す。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	5		2			日々の様子や状況など連絡ノートにてお伝 えし、時には送迎時や電話等にて共通理解が 得るように努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5		2			ご家庭での困りごとや課題について共通 理解を行い、一緒に負担を軽減できるよ うに努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	2				常に子どもたちの意見を尊重し、保護者 様の想いに寄り添う支援を行ってまいり ます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2		1		年に1度、同法人障がい事業所合同イベ ントを行っています。 ご家族みんなで参加していただけ、保護 者様と職員が交流できる機会にもなっ ています。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	7					苦情解決窓口等を設置し、担当者が対応 しています。また、悩みや困りごとなど 相談しやすい関係作りにも掛けていま す。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	2			連絡ノートや送迎の際に伝えきれない場合は電話等で直接お話をさせていただきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	2			日々の連絡ノートで活動内容報告を行っています。また、年に4回合同誌を発行し、活動内容や行事など写真等を掲載し配布しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				契約時、個人情報の取扱いについて説明を行い、同意を得ています。また状況に応じてその目的や内容について保護者の方に確認し、了解を得ています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	3			各マニュアルを策定し、訓練を行う際に活用しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	1		1	年2回以上、共生型(生活介護)利用者と共に防災避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	2	1		安全計画を策定し、定期的な研修や訓練を実施。毎月1日に設備面の安全チェックも行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	2	1		怪我の状態に応じて看護師に診てもらい、処置等の指示を仰いでいます。事故や怪我の状況等その都度、保護者様に説明しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5		2		子どもたち、ご家族が安心して過ごせるように、関係性を大切にしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5	2			子どもたちが様々な経験を通し、楽しく過ごしていただけるよう取り組んでいます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	2	1		今後も子どもたちが安心してより良い生活ができるように保護者様と密に連携し支援してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
共生型放課後等デイサービスわんぱくはうす平井園		令和 6 年 1 0 月 1 5 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	定員に対して、スペースは確保していますが、状況やその日の利用者さんの動きによって配置換えを行うなど対応しています。	利用定員に対して適切であるが、日によって十分なスペースの確保が難しいことがある。活動内容を分けるなど対応していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	2	法令で定められた職員配置基準を遵守。児童指導員を多く配置しています。	共生型の為、生活介護とのスケジュールによって職員配置の調整を行ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	共用スペース内に児童スペースを設けています。全室バリアフリー。情報伝達手段としてホワイトボードを使用しスケジュール等、視覚支援を用いて提示しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	毎日の清掃、感染症対策のための消毒を徹底。フロアーをゆったり使用できるようにスペースを確保しています。	スペース共有する上で集中できる環境を提供できない場合が生じる。個室の使用手法や区画の設置など工夫してまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	共有スペース内に児童スペースと個室(クールダウン室)を設け、必要状況に応じて使用しています。	個室はクールダウン室として机や椅子等は設置していない為、学習等に使用する環境ではない。必要に応じて用途変更できる工夫していきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	3	職員会議を行い、利用者様の状況や支援の在り方、振り返り、改善につながる話し合いの場を設けています。	勤務形態上、参加できない職員もいるため、振り返りや伝達方法を明確にし、業務改善につなげていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	年1回評価表アンケートを配布し、保護者様に協力をお願いし、結果は集計し配布しています。業務改善につながるよう、話し合いの場を設けています。	保護者様からいただいたご意見をもとに、改善策を検討し、より良い支援につながるよう努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎朝のミーティング、月1回職員会議を行い、意見交換や情報共通の場を設けています。	今後も職員全体で話し合いを行い、業務の改善策について検討していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	第三者による外部評価は受けておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	外部研修やの機会を確保し、積極的に受講しています。年に1回障がい福祉事業所合同研修会を開催している。	内部研修や勉強会を実施しているなかで、職員が自発的に参加したい、学びたいと思えるテーマの立案が必要。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	2	将来に少しでも役立つ生活の上で必要な活動(お手伝い等)や運動、学習、季節の創作、レクなど様々なプログラムを作成し、子どもたちの意見を尊重し楽しみながら取り組んでいます。	日課活動は継続しつつ、個別活動・集団活動を組み入れ、楽しむながら様々な体験ができるプログラムの作成に尽力いたします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	アセスメントシートを活用し、モニタリングを行ったうえで面談を実施。ご本人の状況やご家族の意向を整理し、支援計画書を作成しています。	アセスメントを適切に行い、常にご本人及び保護者様のニーズに応じた支援計画を作成してまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	計画見直しの際には、直接支援に関わる職員が集まり、目標に対するの評価や課題、現状について情報共有し、モニタリングを行い、計画書に反映しています。	支援に関わる職員全員で計画書を作り上げていく体制づくりの強化、共通理解を徹底してまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	支援者会議に面談内容や計画書を職員間で周知し、支援の方向性を確認しています。	計画内容の確認、支援内容を職員間で共有し、より良い支援につなげてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	標準化されたアセスメントシートを活用しています。	標準化されたアセスメントシートに加え、より明確な情報を共有できるよう改善を検討してまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	5領域の視点を踏まえた計画の中で1対1による個別活動＋個々のニーズに応じた集団で行われる支援を組み入れ、支援計画に反映しています。	定期的にガイドラインを確認しながら支援内容の見直しや支援に必要な項目を組み入れ支援内容を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	職員で提案し合って、活動プログラムを立案しています。	今後も様々な体験を積み重ね、将来必要となる力を養えるような活動プログラムを考えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	日課プログラムもある中で、イベントなどを取り入れ季節を感じる、楽しみながらいろいろな体験ができるよう立案し取り組んでいます。	日課活動は継続しつつ、個別活動・集団活動を組み入れ、楽しむながら様々な体験ができるプログラムの作成に尽力いたします。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	支援プログラム内で個々に応じた個別活動や役割を明確にし、個々のニーズに応じた集団活動を組み入れ取り組んでいます。	個々に応じたプログラムの中で、偏りなく双方の活動が提供できるようプログラムの充実を図り、よりよい支援につなげてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	3	毎朝、ミーティングをしています。スケジュールや利用者様の状況等、共有しています。	全体ミーティングの他に放デイのみのミーティングの時間を設け、支援の明確化や役割分担の確認を行い支援への強化につなげていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	0	7	支援終了後、送迎など職員が揃わない為、時間が取れていない。翌日の朝ミーティングにて状況把握を行い、共有しています。	支援の振り返り、職員間の情報共有の徹底の為、話し合いの時間を設定してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	事業所での状況やご様子など日々の気づきを記録し、保護者様とは連絡ノートにて連携・情報の共有を行っています。	振り返りの際、明確に事項を把握できるような記録の仕方・工夫が必要。改善・工夫してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	定期的にモニタリング・振り返りを行い、面談にて児童の状況や保護者様の意向をお聞きした上で見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2	「おてつだい」「季節の創作」「地域貢献活動」「レクリエーション」などプログラムに組み入れ活動しています。	地域交流の機会が少ないため、今後の検討課題であります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	プログラム内やおやつ選びなど自分で選択する機会を設けています。選択困難な場合は、日々の様子から嗜好の分析を行い選択肢を絞って提供するなど工夫しています。	日頃の生活場面の中で意思決定する機会を増やし、取り組んでいきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者がご本人の状況を整理した上で参加しています。	今後も相談支援事業所と密に連携し、会議には積極的に参加させていただきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	状況に応じて、嘱託医に支持を仰いだり、相談できる体制を構築しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校送迎時や担当教員とのメールにて連絡調整を行っています。また、サービス担当者会議に出席した際、情報共有しています。	必要に応じ情報交換を行ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5		共生型への移行後はありませんが、今後必要に応じて情報共有と相互理解に努めて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	担当者会議や学校での引継ぎ会議等に積極的に参加しています。	共生型として卒業後の継続した支援やスムーズな移行の実現をめざしてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	5	今年度は障害児支援事業者育成事業を通じて担当者が事業所に訪問していただき相談や助言、研修を受けています。	今後も積極的に研修や交流会に参加し、能力向上に努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		地域のこどもとの活動に参加する機会はありませんが、今後地域とのつながりを深められる活動を検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7		参加出来ていません。今後の検討課題と致します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時やお会いできない保護者様とは連絡ノートやお電話にて日頃のご様子や状況をお伝えしています。	日々の連携の中で、一方通行にならないよう、情報共有し、共通理解に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	ご家族とのやりとりの中で連携を取り、支援内容を理解していただき協力していただいております。	今後、茶話会を計画し、情報共有できる場の提供を検討してまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に契約書・重要事項説明書を通して説明を行っています。	わかりやすく丁寧に説明することを心掛けます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	個別支援計画書の見直しの為、保護者様と面談を行い、現在の状況共有や今後の支援について共有しています。	ご家庭の意見を反映させていくため、保護者様のご都合にあわせた面談・電話など柔軟に対応させていただきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	面談後、新たな支援計画書(案)を作成し、内容を確認していただき本計画書に同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	6か月に1回面談を行っています。また、保護者様から要望があればその都度、対応しております。	現状に応じて保護者様とお話し、悩みや相談に適切に対応するよう努めます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3	年に1度、同法人障がい事業所合同イベントを開催し、ご家族で参加していただいています。日頃送迎などで顔を合わすことのできない職員との交流や保護者同士の交流も目的としております。	今年度は茶話会を検討しております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	1	苦情解決窓口を設置し、担当者が対応しています。	相談や申し入れを受けた際は、迅速かつ適切に対応するように今後も心掛けていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	日々の活動内容や連絡事項などは連絡ボードを通してお伝えしています。また年に4回合同誌を発行し、写真を掲載するなど活動概要や行事予定など掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報が記載されている書類は鍵付きキャビネットに保管しています。また、契約時に個人情報使用にあたる説明を行い、同意を得ています。	個人情報使用に際し、目的や内容についてその都度、確認し了解を得たうえで取扱いいたします。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	こどもたちとはもちろん、保護者様とも情報伝達するため、連絡ノートを使ったり、必要な場合は電話や直接お話をしています。	個々に合わせた伝達方法を見出し、情報提供に努めます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	行事への招待は行っていないが地域貢献活動としてゴミ拾い活動を行い、地域の方々に少しでも事業所のことを知ってもらう機会になればと実施している。	地域とのつながりを深める活動を考えていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各マニュアルを策定し、訓練を行う際に活用しています。	定期的にマニュアルの見直しを行い、常に状況に応じたマニュアルを策定し、職員への周知に努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCP業務継続計画をもとに訓練を行い、備蓄倉庫にて必要物品を備蓄、備えている。	定期的な訓練の実施や計画の見直し、備蓄品の管理を継続して行ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時のアセスメントで、保護者様より詳しい情報を共有し、内服支援・発作時の対応を確認し、全職員に周知しています。	内服・発作の状況など常に把握し、職員全員が周知し対応できるように徹底してまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	契約時のアセスメントで、保護者様より詳しい情報を聞き、できる範囲の除去食を提供しています。	保護者様から情報をいただき、意思の指示書がある場合は全職員への周知を徹底し、細心の注意を払って対応してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	安全計画を作成し、毎月1日に設備点検を行い、計画に沿った研修・訓練を行っています。	安全計画に応じた訓練や研修を通じ、常に安全安心な環境を整えてまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	訓練の様子等は連絡ノートや送迎時にてお伝えしています。また、安全上の指摘事項はその都度検討し改善に努めております。	保護者様、ご家族により周知していただけるよう安全計画の開示をしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット報告書を作成し、自由に閲覧できるようにしています。また、ミーティングや会議時に共有しています。	今後、再発防止に努め、発生した場合には、状況の記録、職員間での共有、再発防止策の検討をしっかりと行っていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年度初め・入職時には虐待防止研修を行い、職員全員で確認、周知しています。	外部研修など積極的に参加できる体制を整え、研修内容を他職員へ伝達する研修報告(会議内で)の時間を設定し周知してまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	原則、身体拘束は行いません。子どもの安全確保のための行動制限に関しては、個別支援計画書に記載し、保護者様と共有しています。	今後とも身体拘束は原則行いません。ご本人の状況や行動を日頃より観察し、保護者様と情報共有した上で対応してまいります。